

みんなの大和NEWS

<発行部数 7500部>

発行/中野区大和区民活動センター運営委員会
編集/みんなの大和NEWS編集委員会
住所/〒165-0034 中野区大和町2-44-6

TEL/03-3339-6125 FAX/03-3339-6126
Email/nakano_yamato@coast.ocn.ne.jp
HP/http://www.nakano-yamato.gr.jp/



子供たちの豊かな可能性を育む「青少年育成大和地区委員会」

<妙正寺川マラソン大会>

冬場の健康増進を目的に始まり、野方地区も含めた大勢の方の協力で実施されています。



いっぱい応援してもらったのが、うれしかったです。



疲れたあ〜でも、また来年も走るぞ!



<ウォークラリー>

コマ図や地図を持って、班の中で協力しながら自分の地域や、周りの地域を知ってもらおうのが目的です。



コマ図のとおりに行けてよかったです。



<バザー>

ミニリーダーたちも、売り子として協力してくれます。



「いらっしゃい」って言うのが、少し恥ずかしかったです。



<ミニリーダー講習会>

「デイキャンプ」や「バスハイク」を通じて、年齢の違う子供たちや、他地区の子供たちとの交流が目的です。



イベントは誰でも自由に参加できますよ!



自分たちで作ったカレーは、美味しかったです。



役員の皆さんです。(左から)

小尾由紀恵さん・榎本理絵さん・小泉里幸さん・林朱実さん・佐久間利彦委員長
石原みゆきさん・杉本佐知子さん・末富恵子さん・和泉智乃さん

佐久間委員長に、活動内容と地区委員の熱意を語っていただきました。

皆さんは「青少年育成大和地区委員会」って聞いて、どんな団体かわかりますか? 「知らない、何やってるの?」「地区って大和のこと?」「どこかの団体の中の委員会のこと?」
「知らない、何やってるの?」「地区って大和のこと?」「どこかの団体の中の委員会のこと?」
「ウオークラリー」「妙正寺川マラソン大会」「バザー」や「環境安全マップ作り」などをやっています。

メンバーは、町会やPTAなどから推薦された委員40〜50名で、育成部や研修環境部・広報部に分かれて活動しています。PTAからの推薦による方は、1年で交代することが多いのですが、子供たちのための活動が気に入ったのか、1年間が経っても、個人的に委員として残って活動をしてくれる方も多くいます。熱心に子供たちの健全育成に、力を発揮してくださっていることを、本当にありがとうございます。

大和区民活動センター運営委員会は、住民自らの話し合いや行動を活かし、地域の力によって安全・安心で暮らしやすい町づくりを進めることを目的に、様々な事業を行っています。

- 会長兼 本川則裕さん (大和町会連合会 中町会 推薦)
- 経理部長 大和町会連合会 (中町会 推薦)
- 副会長 伊藤栄資さん (大和町会連合会 中町会 推薦)
- 副会長 伊藤英男さん (大和町会連合会 中町会 推薦)
- 副会長 大和町会連合会 (西部自治会 推薦)
- 副会長 押田義一さん (大和町会連合会 東町会 推薦)
- 副会長 勝岡鉦一さん (大和町会連合会 (北協和会) 推薦)
- 広報部長 伊藤和也さん (大和町会連合会 (東町会) 推薦)
- 事業部長 松澤勇治さん (大和町会連合会 (一和町会) 推薦)
- 総務部長 山本宗志さん (大和町会連合会 (一和町会) 推薦)
- 監事 風間一二三さん (大和町会連合会 (東町会) 推薦)
- 監事 加藤恒子さん (大和町会連合会 (北協和会) 推薦)
- 山田恵美子さん (大和町会連合会 (東町会) 推薦)
- 布瀬川浩一さん (大和町会連合会 (東町会) 推薦)
- 吉田國臣さん (大和町会連合会 (中町会) 推薦)
- 太田文雄さん (大和町会連合会 (一和町会) 推薦)
- 中山孟子さん (大和町会連合会 (一和町会) 推薦)
- 田口数幸さん (大和町会連合会 (北協和会) 推薦)
- 黒武者キヌ子さん (大和町会連合会 (北協和会) 推薦)
- 平田敏昭さん (大和町会連合会 (北協和会) 推薦)
- 石津義弘さん (大和町会連合会 (西部自治会) 推薦)
- 佐久間利彦さん (大和町会連合会 (西部自治会) 推薦)
- 石原みゆきさん (青少年育成大和地区委員会推薦)
- 涌井久美子さん (青少年育成大和地区委員会推薦)
- 中井敏雅さん (大和地区民生児童委員協議会推薦)
- 関口俊夫さん (大和地区民生児童委員協議会推薦)
- 井上和昭さん (大和地域住民協議会推薦)
- 麻生鶴松さん (大和地域住民協議会推薦)
- 細井貞行さん (大和友愛会推薦)

令和2年度の
大和区民活動センター
運営委員会委員27名が
決まりました。



●大和区民活動センター運営委員会のホームページ用QRコードです。



コロナ騒動の収束まで「みんなの大和ニュース」は、B4サイズでお届けします。
 3月以降、学校や町会・センターなどで計画されていた、行事やイベントがすべて中止になっている状態です。このため「みんなの大和ニュース」も紙面の縮小を余儀なくされました。早く以前の大和町の活気を取り戻し、皆さんに楽しいイベント報告ができるよう祈っています。どうぞ、お体に気をつけて元気にお過ごしください。



コラム「私のお楽しみ」② 一丁目のじいたん(大和町在住)
トンボの頭は、日本三大珍味の四番目だ!
 北海道で生まれ育った僕の子供の頃の遊びは、冬はスキー・スケート、夏は釣り
 と昆虫採集でした。ある日、友人とトンボを探っていた時、友人が「ミソトンボの頭っ
 て、喰えるんだって」と言うんです。そもそもミソトンボなんて聞いたこともないの
 で、捕まえたトンボの頭を片っ端からもいで、食べ始めました。口の中で噛み潰すと、
 ドロツとした液体が出ます。この味がいいんです! すっかりはまってしまい、トンボ
 採りはオヤツタイムになりました。具体的にどんな味かと
 いうと、上京して初めて日本三大珍味のキノワタを食べた
 時、思わず叫んでいました「これはトンボの頭の味だ!」。
 夏から秋の家の周りには、アブラゼミや「オロギ」など美
 味しそうな・おっと、こんなことを書き続けると、変態
 ジジイに思われそうなので、この辺で筆を置きます。

*皆さんの「お楽しみ」原稿をお待ちしています。応募ご希望の方は、事務局へご連絡ください。☎(3339) 6125

大和ギャラリー

■当センター1階ホール

7月・8月はお休みして、再開は9月1日(火)からを予定しています。

●9月1日(火)～19日(土)

【<第19回>大和写真クラブ 作品展】

60歳以上の方に マッサージ 三療サービス

●日時/毎月第3木曜日 09:30～(当日09:00から電話受付)

●費用/900円(45分)先着14名様に限りさせていただきます。***感染防止のためのルールを予約の際にご確認ください。守れないと施術が受けられないこともあります。**

8月・9月の恒例イベント情報

《中止イベント》

- スイカ割り大会(中町会・東町会・一和町会)
- 子ども縁日(北協和会)
- 夏休みラジオ体操(東町会他4町会)
- お神輿・大盆踊り会(八幡神社)

《未定イベント》

- 敬老の集い/9月14日(月)予定(大和区民活動センター) *開催が決まった場合は、ポスター・ホームページでお知らせします。
- 大和地区合同防災訓練/9月27日(日)予定 *開催の可否は町会の掲示板でお知らせします。

伝言板

新型コロナの状況では中止になる場合もありますので、館内ポスター・ホームページ・事務局にてご確認ください。

■問合せ/大和区民活動センター運営委員会事務局 ☎(3339) 6125 Email:nakano_yamato@coast.ocn.ne.jp

地域のコミュニティカフェ。 カフェカトリア 《スタッフ募集》

7月・8月はお休みして、再開は9月2日(水)からを予定しています。なお、人数制限にご協力をお願いします。

●時間/10:00～15:00

7月から再開しました! 健康体操カトリア

●時間/13:30～15:30

●会場/当センター集会室

- 毎月第1月曜日は「みんなでワイワイ」8月・9月は「ポッチャ」です。(無料) 講師/長野誠先生(スポーツボランティア)
- 毎月第2月曜日は「椅子を使った楽しい体操」(無料)*8月は第3月曜日 講師/山本明子先生(中野区トリム体操連盟会長)

運営委員会と町会の、新しい会長さんをご紹介します。

大和区民活動センター 運営委員会会長 本川則裕さん



本年度限定で、会長を拝命しました。課題は、コロナ禍後の諸行事を円滑に行うこと。大和地区・委員の皆様、事務局等のご協力を得、各町会の意向を踏まえた運営を、と思っております。諸行事等でお会いできるのを楽しみにしております。よろしくお願いたします。

東町会会長 押田義一さん



全員参加の町会を目指します。

北協和会会長 勝岡鉦一さん



主役は、地域の皆さんで、私はその黒子です。皆さんが、動きやすい仕組みづくりを、お手伝いしたいと思います。「互近助」パワーの「絆」を、少しでも強くできたら良いですね!

例年10月に予定している「大和地区まつり」は、コロナ感染防止対策として今年開催を中止にします。何卒、ご了承ください。

大和のマイ★スター 46

昭和ノスタルジー・記憶の中の風景



小原康延さん(大和町在住)

町の風景を、描き続けていらっしやいます。

小原さんは、阿佐ヶ谷に生まれ、5歳から大和町に住み、若手県花巻市に1年ほど疎開しており、当時は戦時中で食べ物もない時代でした。東京大空襲の翌日、千葉の友人宅から、両親と末弟の安否が気になり、早朝に弟と妹の手を引き、高円寺まで帰ってきた日のことを、鮮明に覚えているそうです。「東京に向かう電車は大混雑で、乗客は窓に腰掛け、連結器の上や屋根にもぎっしりの老若男女。終着駅の秋葉原に到着すると、一面焼け野原で、鉄骨だけになった万世橋は恐怖で渡れず、線路上を歩き高円寺駅まで帰ってきました。その後、家の近所を探し両親に再開できたのは、千葉を出発してから15時間後で、その間食べたものは、握り飯一個と途中でもらった乾パン一つでした。親に会いたい一心が、空腹も、のどの渇きも忘れさせていました」。

小原さんの描く作品からは、戦前から戦後にかけて、大和町に暮らす人々の、活気や息遣いが伝わってきます。町並みが変わり、昔を覚えている人も少なくなりつつある今、絵を描き続けることによって、平和な生活の大切さを私たちに伝えてくれます。「大和町は人情のある町です。人との繋がりを、未来へ向けて繋げていってもらえたら、と願っております」。



大和町一丁目にあった、左上から駄菓子屋・表具店と和菓子屋・たばこ店と豆腐屋・こんにやく店



大和児童館の近くには、つり堀があったそうです。

